

目標達成計画

事業所名：旭川高齢者グループホームほーぶ

作成日：平成 27年 10月 23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	職員がやりがいを持ち、いきいきと働く職場の環境づくり。管理職は、会議や個人面談で職員と話す機会を多くつくり、個々の能力や努力を把握し、全職員が向上心を持って働くことができるよう取り組んでほしい。…というご指摘がありました。	介助に対してはそれぞれのご利用者様に、全職員が統一した対応が必要です。ただし、接し方については、職員個々の長所を活かせるような、のびのびとした雰囲気づくりが大切と考えます。そのためにも、管理者が職員個々の性格や特徴を知るためにも、面談を行う、ということを目標とします。	1ヶ月に数名、4ヶ月を1サイクルとして、個人面談を行います。東棟、西棟のそれぞれの管理者もしくはそれに代わる責任者が対応します。身だしなみ、声かけ、ご利用者様の対応など、チェック項目(5段階評価)とともに、施設側に対しての意見や思いなど、個々の施設や介護に対しての思いを聞き取り、本人にとって一番いい環境づくりに取り組みます。	新年度 H28.4～
2	20	家族と相談し、昔馴染みの場所や会いたい人に会うことができるよう、今しかできない支援を、個々の希望に合わせ計画・実行してほしい。…というご指摘がありました。	誕生日や歳時記、外出行事などは行っておりますが、個々の思いを叶えるイベントはありませんでした。それぞれのご利用者様のQOLを満たすためにも、ご家族様と相談、了解を得た上で、実現したいと考えます。	ご家族様に個々の思いを叶えるイベントの趣旨を報告。ご利用者様の願望を聞き取った上で、ご家族様に相談・了解を得て、外出。半年に1回のサイクルで行います。職員は1～2名同行し、希望に応じてご家族様も同行いただきます。具体的な内容は、思い出の場所、知人に会いに行く、買い物の具体的なものからドライブ的なもので、できるだけご利用者様とご家族様に喜んでいただけるように、幅広く対応します。	新年度 H28.4～
3	35	災害時、ご利用者様と職員がホーム内で数日過ごせるように、生活用水の確保や飲料水・食料品・非常持ち出し袋等の災害備蓄品の準備をしてほしい。…とのご指摘がありました。	比較的災害の少ない旭川という土地柄もあり安心感がありました。ただ、ここ数年の異常気象、大雪など、起こってしまったからでは遅いため、考えられる対策を行います。	ポータブルストーブのホーム用の確保。電池不要のゼンマイ式ライト・ラジオ。応急処置セット。ビニールのゴミ袋(水や防寒として)、インターネットから非常用の災害備蓄品と持ち出し袋・食料品・飲料水などを検索し購入。それらをケアマネ室もしくは休憩室の1カ所に用意します。(3ヶ月ごとに点検・補充・交換)また、生活用水としてユニットバスに常に、水をはります。	順次用意
4	36	食器の片付け時、居室やホールで寛がれているご利用者様に、耳障りな音や不快な音になる可能性のある、不必要な大きな音を極力たえず、静かで穏やかな対応や配慮をしてほしい。…とのご指摘がありました。	外部評価時、食器洗いの音がとても大きかったので指摘され気づきました。それ以外の事でも大きく耳障りな音を確認し対応したいと考えます。	食器洗いのみならず、TVの音量(時間帯に応じて)、職員の声かけ(遠くから声かけをしない)など、職員から大きな音や耳障りな音を提案いただき検証。仕事中でも職員間で注意しながら、静かな雰囲気づくりに取り組みます。	次回会議 から注意

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。